

滝川市長 前田 康吉 様

滝川市の環境施策に関する評価報告及び提言書

滝川市環境市民委員会

平成26年11月18日

1 趣旨

本評価報告及び提言書は滝川市環境基本条例第 29 条に基づき、滝川市環境市民委員会（以下、「委員会」という。）として調整した評価及び提言などについて、滝川市長に対して年に一度、提出するものである。

なお、ここで評価対象とするのは前年度（平成 25 年度）の取組に対する評価を含め、計画期間内での施策などの進捗状況についてである。

2 平成 25 年度までの取組などに関する評価について

平成 25 年度までの取組に係る評価については、別添「評価シート」(資料 2－1～4)のとおりとし、特に次の点について評価する。

体験を通じて学ぶ現場学習の推進については、小学生を対象とした「滝川わくわく食育・エネルギー育教室」のほか、児童館を対象とした「「水」と「エネルギー」について学ぶ！環境わいわい教室」など、環境イベントを複数回開催するなど、環境教育に係る取組が特に進んだと感じた。

3 今後の取組に向けた提言について

今後に向けたあるべき姿や方向性、検討を要望する事項については、次の点を提示する。

- ①平成 26 年 4 月より、ごみの分別や収集方法が新しくなったため、昨年度に引き続き、住民に周知を行う必要があるほか、ごみ処理の現状を市民にも広く知ってもらうことができるよう更なる取組が必要。
- ②エネルギー問題については、市民の生活と直結する問題なので、市民・行政の知識を高めるとともに、本年度も引き続き省エネなどの情報提供に努める必要がある。
- ③たきかわエコネットの活用については、更なる情報の交流を進めるため、情報量の拡充に向けた、市民・民間団体などが利用しやすい環境整備が必要。
- ④環境教育関連の取組に関しては、昨年度の環境イベントの事業に引き続き、本年度以降も市民・民間団体・行政が協働で実施できるよう取組を進めていく必要がある。

委員会としては、今後、滝川市が環境施策を展開していくなかで、以上の各事項について十分に留意し取り進めるよう要望し、報告ならびに提言する。

平成 26 年 11 月 18 日

滝川市環境市民委員会 委員長 石 川 美 雪